

鹽ニ關スル參考資料

昭和六年一月

第一、青島鹽日本輸入ニ關スル日支交渉ノ概要

(附) 青島鹽輸入ニ關スル條約及協定

第二、臨時財政經濟調査會答申摘錄

第三、人口食糧問題調査會ニ於ケル鹽ニ關スル意見

拓務省殖産局

目次

第一、青島鹽日本輸入ニ關スル日支交渉ノ概要

(附) 青島鹽輸入ニ關スル條約及協定

(一)、山東懸案解決ニ關スル條約抄

(二)、山東懸案細目協定抄

(三)、山東懸案細目協定附屬書抄

(四)、青島鹽輸出一般協定及同上附屬書

(五)、青島鹽臨時輸出便法

第二、鹽ノ生産、配給及價格等ノ根本方策ニ關スル臨時

財政經濟調査會答申摘錄

第三、人口食糧問題調査會ニ於ケル鹽ニ關スル意見

- (一)、鹽ニ對スル方策案（長瀬幹事）
- (二)、鹽制改革ニ關スル希望（村上委員私案）
- (三)、鹽制改革ニ關スル意見（堤委員私案）

第一、青島鹽日本輸入ニ關スル日支交渉ノ概要（内地專賣局調）

今日普通青島鹽ト稱シテ居ルノハ膠州灣ノ沿岸デ生産スル天日鹽デアリマシテ同地方ニ天日製鹽地ノ開設セラレタノハ光緒二十六年即チ明治三十三年獨逸ガ青島ヲ租借シテ三年後ノコトデアリマス

大正三年同地ガ我守備軍ノ配下ニナリマシタ當時ハ二千町歩弱ノ鹽田ガアツタノデスガ翌大正四年六月稀有ノ大水害ヲ蒙リ鹽田ノ破損セラレタルモノ非常ニ多ク爲メニ其ノ面積ヲ減ジマシタケレドモ大正五、六年ニ至リ殆ンド復舊シ六年始メテ内地ニ六千萬斤餘ノ輸入ヲ見タノデアリマスガ偶々大正七年ニ至リマシテ我國デハ内地鹽ノ大凶作ニ際會シマシタノデ同年ヨリ急ニ同鹽ノ需要ヲ喚起致シマシテ大正十一年迄毎年約一億六千萬斤乃至三億五千萬斤ノ輸入ヲ見タノデアリマス之レヨリ先朝鮮ニ於テハ大正三年以來毎年同鹽一千九百萬斤乃至一億一千五百萬

斤ノ輸入ヲナシテ居リマス様ナ都合デ青島ハ我國ノ鹽供給地トシテ主要ナ地位ヲ
占メテ居タノデアリマス

所ガ大正十一年二月彼ノ華府會議ニ於テ山東懸案解決ニ關スル條約ガ締結セラレ
青島ニ於ケル日本人經營ノ鹽田ハ全部支那ニ還付セナケレバナライ様ニナツタ
ノデアリマス其ノ協定ノ要點ハ

- (1) 青島ニ於テ日本人ノ經營シ居タル鹽田ヲ相當價額ニテ支那ニ買收スルコト
- (2) 其ノ代リ同地產鹽ノ日本輸出ヲ適當ノ條件ニテ許可スルコト
- (3) 以上ノ目的ノ爲ニスル取極ヲ日支共同委員會ニテ六ヶ月以内ニ完了スルコト

右ノ三妥協ニ決定セラレ次テ右條約ニ基ク山東懸案細目協定ガ同年十二月我が小
幡公使ト支那ノ王正廷トノ間ニ協定セラレマシタ

右ノ協定ニ依リマスルト

- (1) 青島日本人經營ノ鹽田三千二百町歩ヲ大正十二年三月中支那ニ還付シ其ノ
賠償金額九百三十八萬圓ヲ日本人鹽業者ニ交付スルコト

- (2) 青島鹽ヲ將來日本ニ輸入スルニ付テ左記ノ原則ヲ協定シマシタ

- (イ) 輸入購買鹽ノ數量ハ年額一億斤以上三億五千萬斤以内タルコト

- (ロ) 輸入購買鹽ノ品質檢定ヲ日民政政部時代ノ規則ニ依ルコト、鹽ノ受渡地

點ハ日本ノ門司其他日本專賣局指定ノ地點タルコト

- (ハ) 其他詳細事項ハ日支主務官廳間ノ協定ニ委スコト

右ノ次第ニテ青島鹽ノ日本輸入ニ關シ日支主務官廳間ノ協定ニ委セラレタル事項
アルカ爲ニ專賣局ハ大正十二年十二月委員ヲ北京ニ派遣シマシテ翌年一月ヨリ四
月迄二十四回ニ亘リ支那側委員ト協議ヲ重ネシメマシタガ彼我主張ノ懸隔甚シク

遂ニ意見ノ合致ヲ見ズ一先ツ會議ヲ打テ切ツタノデアリマス
右不調ノ主要點ハ

(1) 輸出稅率問題

日本側ハ日本軍政當時同様鹽百斤毎ニ銀三仙ヲ主張スルニ對シ支那側ハ工業
家購買鹽及朝鮮向輸出鹽ニ付テハ支那工業鹽稅ト同ジク毎百斤銀二十仙及別
ニ保證金トシテ毎百斤銀四圓五十仙ヲ固持主張シマシタ

(2) 輸出商問題

支那側ハ政局不安ノ顧慮ニ依リ曩ニ輸出商ニ指定シタル永裕公司ヲ其ノ儼認
ムヘキヤ否ヤニ付意向定マラス、又日本側ノ主張スル輸出商ノ日本人代理人
設定ニ付同意セズ

其後我方トシテハ青島鹽ハ日本ニ輸出スルノ外主ナル販路ナキヲ見越シ支那側ヨ

リ我方主張ニ接近シ來ル迄少クモ一、二年間ハ青島鹽ノ輸入ヲ爲サザルコトトシ
以テ本件ノ自然的解決ヲ俟ツノ方針ヲ執リ外務省ト打合セ爾來在支本邦公使ニ委
囑シ支那側ト内交渉ヲ續ケ居リシニ我方豫期ノ如ク支那側ニ於テハ當初ノ頑強ナ
ル主張ヲ棄テ多大ノ讓歩ヲ爲シマシタノデ遂ニ大正十五年二月十二日北京ニ於テ
彼我委員ノ間ニ正式ノ協定調印ヲ了スルニ至リマシタ

右ノ協定ハ青島鹽輸出一般協定、青島鹽輸出一般協定附屬書及青島鹽臨時輸出辦
法ノ三協定ヨリナツテ居リマスカ青島鹽輸出一
般協定ハ專賣局購買鹽及内地工業家購買鹽ニ關スル事項、青島鹽輸出一般協定附
屬書ハ專賣局購買鹽輸出取扱人ノ日本人代理人ニ關スルコト、青島鹽臨時輸出辦
法ハ工業家購買鹽及朝鮮輸入鹽ニ關スル事項ヲ協定シテ居リマス
輸出協定ノ要點ハ

(1) 青島鹽輸出稅率

專賣局購買鹽 輸出税 每百斤ニ付 銀三仙

工業家購買鹽 同 同 銀三仙

外ニ公費トシテ每百斤ニ付銀三仙ヲ支那鹽商ヨリ徴收

朝鮮輸出鹽 輸出税 每百斤ニ付 銀三仙

外ニ公費トシテ每百斤ニ付銀九仙ヲ支那鹽商ヨリ徴收

(2) 青島鹽購買輸出方法

(イ) 專賣局購買鹽

專賣局ヨリ支那鹽商永裕公司(其ノ代理人 三井物産株式會社 三菱商事株式會社)ニ對シ輸入命令ヲ發シ專賣局指示ノ地ニ輸入購買ス

(ロ) 工業家購買鹽及朝鮮向輸出鹽

需要者自ラ青島港内ニテ支那鹽商(三名以上ヲ置クコト)ヨリ購買シ之ヲ

需要地ニ輸入スルコト

トナツタノデアリマスソレデ右ノ協定ニヨリマスト專賣局購買鹽ハ輸出一般協定ニヨリ工業家購買鹽ハ輸出一般協定ト臨時輸出辦法ニヨリ朝鮮輸入鹽ハ單ニ臨時輸出辦法ノミニヨツテ輸入スルコトヲ得ル様ニナツテ居リマス

而シテ臨時輸出辦法ニヨリマスト其ノ輸出數量ガ二十一萬噸ト限定セラレ其中朝鮮ヘハ少クトモ十萬噸ヲ下ラナイコトニナツテ居リマス

ソレデ朝鮮ヘハ十萬噸以上若シ日本内地ニ工業用鹽トシテコノ辦法ニヨリ少シモ輸入サレナケレバ二十一萬噸全部ヲ輸入スルコトヲ得ルノデアリマス

現在迄コノ辦法ニヨリ日本内地ニ輸入サレタ鹽ハ三千噸餘リ(他ハ一般協定ニヨリ輸入シ居レリ)デアリマスカラ二十萬噸以上ハ朝鮮ニ輸入シテヨイ譯デアリマスソレデハ何故朝鮮ハ一般協定ニヨラズ臨時辦法ニヨツタカト申シマスト輸出税

率ニ付テ專賣局購買鹽ト工業家購買鹽ニ付テハ每百斤銀三仙ニ同意シタノデスガ
朝鮮輸出鹽ニ付テハ每百斤ニ付銀二十仙ヲ固持シテ中々讓ラナカツタノデアリマ
ス

支那側ノ請フ所ハ朝鮮ニ於ケル需要者ガ每百斤ニ付銀二十仙ノ輸出税ヲ支拂ヒテ
續々青島鹽ヲ朝鮮ニ輸入シ居リタル實例ヲ捉ヘテ云々シ尙朝鮮ヲ經テ北滿洲ニ密
輸入セラルル鹽少額ナラザル事實ヲ指摘シマシタノデ此ノ分ハ一應切離シ他日ノ
交渉ニ讓ルコトトシ臨時辦法ニ於テハ輸出税每百斤銀三仙ノ外公費トシテ銀九仙
ヲ支那鹽商ヨリ徵收スルコトニ協定ガ出來タノデアリマス

右ノ協定ニ依リマシテ專賣局トイタシマシテハ昭和十二年迄毎年一億斤以上三億
五千萬斤以内ノ青島鹽ヲ購買スル權利義務ガアルノデアリマスガ前ニモ申シマシ
タ通り内地デハ大正十三年以來内地鹽豐作續キテ多量ノ停滯過剩鹽ヲ生ジマシタ
ノデ從テ輸入鹽ノ購買數量モ極力減少スルノ必要ニ迫ラレ臺灣關東州鹽ノ輸移
入數量ヲ減少スルト同時ニ青島鹽ノ輸入數量モ前記ノ協定數量ヨリ減少シタノデ
アリマス

即大正十五年度九千萬斤昭和二年度以降同四年度迄ハ八千萬斤ノ輸入命令ヲ發シ
尙實際輸入數量ハ右命令數量ヨリ減少セシメタノデアリマスコノ輸入數量ヲ減少
シタルコトガ日支兩國鹽務官廳ノ問題トナリマシテ支那側デハドウシテモ協定數
量最小限一億斤迄ハ輸入ス可キモノデアルト主張シマスシ我方デハ山東懸案細目
協定附屬書ニ「協定書記載ノ購買數量ニ關シテハ日支兩國内ニ於ケル鹽ノ需要又
ハ生産狀況ニ依リ右最低又ハ最高數量ノ受渡困難ナル事情アル場合ニ於テハ以上
ノ協定數量ニ拘ラズ其ノ當年ノ購買數量ハ之ヲ臨機協定スルモノトス」トノ規定
ガアリマスノデ日本デハ毎年内地鹽豐作續キテ多額ノ過剩鹽ガアルカラ日本ノ生

産状況ニヨリ青島鹽ヲ協定数量ダケ輸入スル譯ニ行カヌ依テ九千萬斤ガ八千萬斤
ニ減額シタイト先方ノ同意ヲ求メマシテモ先方デハ右條文ハ單ニ鹽ノ増産位ノ場
合ニ適用ス可キモノデナイト中々同意シマセンデ今日デモ尙未決ノ儘ニナツテ居
マスガ我方トシテハ現在迄我主張通り實行シテ居ルノデアリマス然シコレモ何日
迄モト言フ譯ニモ參リマセンカラ本年度ハ最小限一億斤ノ命令ヲ出シタノデスガ
當年ハ幸ヒ青島ガ近年稀ナル鹽不作ノ上輸出取扱人ノ見積書提出時期ガ遅レマシ
タノデ輸入数量モ命令数量ダケノ輸入ハ出來ナイト思ハレマス
工業家購買鹽ハ前記ノ数量ニ拘ラズ昭和十二年末迄ハ自由ニ買付ケ輸入セラレマ
スシ朝鮮輸入鹽ハ前述ノ通辦法デ定メラレタ數量ノ範圍内デ輸入セラレ右數量ガ
輸入サレテシマツタラ更ニ協定ヲシナケレバ青島鹽ノ輸入ハ出來ナイノデアリマ
ス

(附) 青島鹽輸入ニ關スル條約及協定

(一) 山東懸案解決ニ關スル條約抄

(大正十一年二月四日華盛頓ニ於テ調印
大正十一年五月二十三日批准)

第九章 製 鹽 業

第二十五條

支那國ニ於テ製鹽業ハ政府ノ專賣事業ニ屬スルニ鑑ミ膠州灣沿岸ニ於テ現ニ右業ニ從事スル日本國臣民又ハ日本會社ノ利益ハ公正ナル補償ヲ支拂ヒテ支那共和國政府之ヲ買收スヘク且前記沿岸ニ於ケル諸事業ノ產出ニ係ル一定量ノ鹽ヲ日本國ニ輸出スルコトハ適當ノ條件ヲ以テ之ヲ許可スヘキコトニ協定ス

(第二項省略)

(二) 山東懸案細目協定抄

(大正十一年十二月一日北京ニ於テ調印
大正十一年十二月廿九日外務省告示第六四號)

第六章 製 鹽 業

第十七條

日本國政府及支那國政府ハ山東懸案解決ニ關スル條約第二十五條ニ據リ日本國ニ對シ膠州灣沿岸ニ於ケル產鹽輸出ノ條件ヲ協定スルコト左ノ如シ

一、日本國ハ大正十二年ヨリ向フ十五年間年額最高三億五千萬斤、最低一億斤ノ範圍ニ於テ青島鹽ヲ購買ス但シ右ノ期間滿了後ハ更ニ協議スヘシ

二、支那國政府ハ日本國ノ購買スヘキ青島鹽ニ對シ大正十年一月日本國政府所定ノ鹽質檢定規則ニ依ル品質(色合ヲ含ム)ノ檢定ヲ施行スヘシ

但シ將來變更ノ必要アルトキハ更ニ協定スヘシ

三、鹽受渡地點ハ門司其ノ他日本主務官廳ノ指示スル地點ノ倉庫トス

但シ門司以外ノ地點ニ輸入スルモノニ付テハ他ノ輸入鹽ニ於ケルト同様ノ運賃
差額（其ノ輸入地點ト門司迄トノ）ヲ支拂フモノトス

四、日本國ノ青島鹽購買ニ關スル其ノ他ノ事項ハ日支兩國主務官廳ヲシテ之ヲ協
定セシム

(三) 山東懸案細目協定附屬書抄

第八 製 鹽 業

一、青島鹽輸出ニ關スル本協定第十七條ノ一記載ノ購買數量ニ關シテハ日支兩國
内ニ於ケル鹽ノ需要又ハ生産狀況ニ依リ右最低又ハ最高數量ノ受渡困難ナル事
情アル場合ニ於テハ以上ノ協定數量ニ拘ラス其ノ當年ノ購買數量ハ之ヲ臨機協
定スルモノトス

二、日本專賣局ノ購買スヘキ青島鹽ハ當該專賣局ノ必要トスル品質ニ限ル
但シ日本專賣局ノ必要トセサル粗惡鹽ヲ輸入シタル場合ニ於ケル價格ノ低減其
ノ他ノ辦法ニ關シテハ日支兩國主務官廳ヲシテ協定セシム

三、購買價格及工業用自己輸入鹽ニ關シテハ日支兩國主務官廳ヲシテ協定セシム
四、輸出取扱人ノ選出ハ支那主務官廳指定ノ上日本主務官廳トノ間ニ之ヲ協定ス

五、支那國政府ハ青島鹽ノ朝鮮ニ對スル自由輸出ヲ許可ス

六、(省 略)

(四) 青島鹽輸出一般協定及同上附屬書

(大正十五年二月十二日調印)

一 般 協 定

日本國政府專賣局及支那國政府鹽務署ハ大正十一年十二月一日即民國十一年十二月一日締結ノ山東懸案細目協定第六章及協定附屬書第八ニ依リ青島鹽日本向輸出ニ關シ協定スルコト左ノ如シ

第一條 日本專賣局購買鹽ノ種類、數量及購買價格ハ毎年日本專賣局ニ於テ輸出取扱人ト協定スルモノトス

前項協定ノ結果ハ日本專賣局ヨリ成ルヘク速ニ支那鹽務署ニ通知スルモノトス

第二條 日本專賣局購買鹽ノ輸出税及埠頭料等ハ總テ舊額ニ照シテ徵收シ本協定有效期間内ハ増額セス又別ニ新ニ捐税ヲ課スルコトナシ但シ商業上ノ各種實際

的費用ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 日本專賣局購買鹽ノ輸出取扱人ハ永裕鹽業公司トス

前項輸出取扱人ノ指定期間ハ大正二十六年十二月三十一日即民國二十六年十二月三十一日迄トス

第四條 前條ノ輸出取扱人義務ヲ履行シ能ハサルトキハ支那鹽務署ハ日本專賣局ト協議ノ上隨時其ノ指定ヲ取消シ別ニ輸出取扱人ヲ選定シテ日本專賣局ト協定スルヲ得ヘク日本專賣局亦支那鹽務署ト協議ノ上之ヲ更迭セシムルコトヲ得ルモノトス

第五條 日本工業家購買鹽ハ日本專賣局ノ輸入命令ヲ受ケタル工業家支那鹽務署ノ輸出認許ヲ受ケタル鹽商ヨリ青島港内ニ於テ購買シ日本内地ニ輸入スルモノトス

前項ノ輸出鹽ヲ取扱ハシムル爲支那鹽務署ハ數名(三名以上)ノ支那鹽商ニ鹽輸出認許ヲ與フルモノトス

前項ノ輸出鹽ハ青島大港又ハ小港ヨリ汽船ニ依リ輸出スルモノトス

第六條 日本工業家購買鹽ノ輸出税及埠頭料等ハ總テ舊額ニ依リ徵收ス但シ支那鹽務署ハ別ニ支那鹽商ヨリ毎擔銀三仙ヲ徵收シ公費ニ充ツルコトヲ得ルモノトス

前項ノ賦課ハ本協定有効期間内ハ増額セス又別ニ新ニ捐税ヲ課スルコトナシ但シ商業上ノ各種ノ實際的費用ハ此ノ限ニ在ラス

第七條 日本工業家購買鹽ノ種類、數量及購買價格ハ豫メ之ヲ協定セス日本工業家ト第五條第二項ノ鹽商ト隨時商議決定スルモノトス

第八條 日本專賣局ニ於テ日本工業家ニ對シ青島鹽輸入命令ヲ發シタルトキハ其

ノ都度其ノ工業家ノ名稱、鹽ノ種類、數量及輸入地ヲ青島駐在支那鹽務官憲ニ通知スルモノトス

第九條 日本工業家青島ニ於テ青島鹽ノ購買ヲ爲サムトスルトキハ在青島日本總領事館ヨリ證明書ヲ受ケ第五條第二項ノ鹽商ヲ經テ之ヲ青島駐在支那鹽務官憲ニ提出スルモノトス

附 屬 書

一、納鹽事務ノ圓滿ヲ期スル爲輸出取扱人ノ日本人代理人ヲ設置シ納鹽ノ運送及其ノ他一切ノ事務ヲ總刮代辦セシムルコトトシ三井物産株式會社ト三菱商事株式會社トニテ組織スル組合又ハ會社ヲシテ之ニ當ラシム

二、前項代理人ノ指定期間ハ大正二十六年十二月三十一日即民國二十六年十二月

三十一日迄トス

三、第一項ノ代理人義務ヲ履行シ能ハサルトキハ日本專賣局支那鹽務署双方協議ノ上之ヲ更迭スルコトヲ得ルモノトス

(五) 青島鹽臨時輸出辦法

(大正十五年二月十二日調印)

日本國政府專賣局及朝鮮總督府專賣局並支那政府鹽務署ハ青島鹽日本向臨時輸出ニ關シ協定スルコト左ノ如シ

第一條 本辦法ニ依リ臨時輸出ヲ爲シ得ル鹽ノ數量ハ總額二十一萬噸ヲ限度トシ其ノ内朝鮮向輸出鹽ハ少クトモ十萬噸ヲ下ラサルモノトス

第二條 本辦法ニ依ル日本工業家購買鹽ハ日本專賣局ノ輸入命令ヲ受ケタル工業家支那鹽務署ノ輸出認許ヲ受ケタル鹽商ヨリ青島港内ニ於テ日本内地ニ輸入スルモノトス
本辦法ニ依ル朝鮮向輸出鹽ハ朝鮮總督府ノ輸入承認ヲ受ケタル者支那鹽務署ノ輸出認許ヲ受ケタル鹽商ヨリ青島港内ニ於テ購買シ朝鮮ニ輸入スルモノトス但

シ買主ノ同意ヲ得且朝鮮總督府ノ承認ヲ經タル場合ニハ前記輸出認許ヲ受ケタル鹽商ニ於テ直接朝鮮ニ輸入スルコトヲ得ルモノトス

第三條 前條ノ輸出鹽ヲ取扱ハシムル爲支那鹽務署ハ數名（三名以上）ノ支那鹽商ニ鹽輸出認許ヲ與フルモノトス

前項ノ輸出鹽ハ青島大港又ハ小港ヨリ汽船ニ依リ輸出スルモノトス

第四條 本辦法ニ依ル日本工業家購買鹽及朝鮮向輸出鹽ノ輸出税ハ每擔銀三仙トシ埠頭料等總テ舊額ニ依リ徵收ス但シ支那鹽務署ハ別ニ支那鹽商ヨリ日本工業家購買鹽ニ付テハ每擔銀三仙、朝鮮向輸出鹽ニ付テハ每擔銀九仙ヲ徵收シ公費ニ充ツルコトヲ得ルモノトス

第五條 日本專賣局ニ於テ日本工業家ニ對シ青島鹽ノ輸入命令ヲ發シタルトキハ其ノ都度其ノ工業家ノ名稱、鹽ノ種類、數量及輸入地ヲ青島駐在支那鹽務官憲ニ通知スルモノトス

朝鮮總督府ニ於テ青島鹽ノ需要者ニ對シ青島鹽ノ輸入承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ都度其ノ需要者ノ名稱、鹽ノ種類、數量、輸入地及消費地ヲ青島駐在支那鹽務官憲ニ通知スルモノトス

第六條 日本工業家又ハ朝鮮ニ於ケル需要者青島ニ於テ青島鹽ヲ購買セムトスルトキハ在青島日本總領事館ヨリ證明書ヲ受ケ第三條第一項ノ鹽商ヲ經テ青島駐在支那鹽務官憲ニ提出スルモノトス

第七條 本辦法ニ依ル朝鮮向輸出鹽ハ輸入地ヲ釜山、仁川、元山、清津ノ四港ニ限り輸入地ノ税關ヨリ之カ陸揚證明書ヲ在青島日本總領事ヲ經テ青島駐在支那鹽務官憲ニ送付スルモノトス

第二、鹽ノ生産、配給及價格等ノ根本方策ニ關スル

臨時財政經濟調査會答申摘録

(大正十三年三月二十二日)

(一)、鹽專賣制度存廢ニ關スル方策

現行鹽專賣制度ハ之ヲ維持スルコト

現行鹽專賣法ハ日露戰役ニ際シ主トシテ財政上ノ必要ニ應ジ兼ネテ當時漸ク頽廢セムトスル内地製鹽業ヲ支持セムカタメニ計畫實施セラレ爾來往々鹽ハ生活ノ必需品ニシテ他ニ代用品ナク貴賤貧富一樣ニ一定量ヲ消費スルモノナルヲ以テ之ニ課税スルハ人頭税ヲ課スルニ等シク不當ノ制度ナリ等ノ非難アリシモ尙之ヲ維持シテ今日ニ至レリ尤モ其ノ間制度運用上各種ノ改善ヲ遂ケ鹽賣捌規則ヲ制定シテ鹽供給ノ圓滿ヲ期シ官費回送ヲ開始シテ各地鹽價ノ統一ト低廉トヲ

圖リ他方ニ於テハ製鹽法ノ改善就中鹽質ノ改良、生産費ノ低下ヲ圖ルト同時ニ更ニ比較的多額ノ生産費ヲ要スル所謂不良鹽田ヲ淘汰シ之ニ基ク供給不足ハ安價ナル臺關鹽ヲ以テ補給シ内外鹽ノ需給調節ヲ講スル等各種ノ施設ヲ爲シタル爲メ專賣收益ハ漸次減少スルニ至リ殊ニ大正八年ニ及ヒ全ク從來ノ鹽專賣目的タル收益主義ヲ捨テ鹽質ノ改良、價格ノ低減、配給ノ圓滿、價格ノ統一等所謂社會政策的見地ニ基キ之ヲ運用スルコトトナレルヲ以テ今日ニ於テハ專賣法ノ主要ナル精神ハ一變セルモノト云フヘク當初ノ非難ハ最早其ノ理由ナキニ至レリ

由來鹽ハ我國ニ於テハ生産配給ノ關係上必然的ニ平時ニ於テモ投機ノ目的ト爲リ易ク專賣制度施行前ニ於テ八年々價格ノ暴騰暴落ヲ演シ嘗ニ一般消費者ヲ威嚇シタルノミナラス生産者側ニ在リテモ亦多大ノ困難ヲ感シ居タルニ專賣法施

行後ニ於テハ經濟界ノ變動並ニ年ノ豐凶ニ拘ラス鹽ノ配給並價格ハ比較的平準ヲ維持シ復タ昔日ノ如キ現象ヲ生セサリシハ全ク專賣制度ノ效績ト云ハサルヘカラス

要之現行鹽專賣制度ハ將來内地鹽業ヲ支持シ以テ生活必需品タル鹽ノ供給ヲ確保シ且ツ常時鹽價ノ統一、低減、配給ノ圓滿ヲ圖ルカ爲メ之ヲ維持スルノ必要アリト認ム

(二)、鹽供給ニ關スル方策

本邦ニ於ケル需要鹽ノ供給ハ内外併立主義ヲ採ルコト

將來人口ノ自然増加並ニ工業及漁業ノ發達ニ伴ヒ鹽ノ需要ハ益々増加スヘキ傾向ヲ有スルニ拘ラス内地產鹽ハ經濟的ニハ現在以上產額ヲ著シク増加スルコト困難ナルノミナラス其ノ生産費頗ル割高ニシテ固ヨリ之ヲ天日鹽タル外鹽ノ廉

價ナルニ比スヘクモアラス天日鹽ハ結晶粗大色澤不良ノ缺點アルモ之ヲ原料トシテ再製セハ優良ノ鹽ヲ得ヘク且ツ其ノ價格モ内地鹽ニ比シ低廉ナリ又産額ノ點ヨリ觀察スルニ今俄ニ内地鹽田全部ヲ整理シテ外鹽ヲ以テ總テ之ヲ補ハンコトハ事實不可能ニ屬スヘキモ借スニ相當年月ヲ以テ漸次植民地鹽田ヲ擴張セハ幾分生産費ノ増加ハ免レサル可キモ全部ノ供給ヲ爲シ得ラルヘシ從ツテ上述ノ如ク經濟上ノミヨリ立論セハ本邦ニ於ケル需用鹽ノ全數量ハ之ヲ安價ナル外鹽ニ俟ツテ適當ト認メラレサルニアラサルモ鹽ハ生活必需品ニシテ他ニ代用品ナキモノナレハ一度内地鹽田ヲ廢滅セシメ外鹽ニノミ供給ヲ仰キタル場合一朝何等カノ事故發生シ其ノ供給困難ヲ告ケ若ハ杜絶スルカ如キコトアランカ若干ノ備荒用鹽ヲ有ストモ到底其ノ安全ヲ期シ難カル可ク而シテ一旦廢滅ニ歸シタル荒田ノ復舊又ハ新鹽田ノ開拓ハ容易ノ業ニアラスシテ國民生活上一大脅威タル

ニ至ルヘキハ想像ニ難カラス而カモ一面一家ノ私經濟上ヨリ見ルニ鹽價ノ如キハ生計費中少額ヲ占ムルノミ故ニ經濟上若干ノ不利ヲ忍ヒテモ内地鹽ノ一定數量ノ生産ヲ維持シ内外鹽兩者併立シテ以テ供給ノ確保ヲ期ス可キナリ

(三)、内地鹽田ニ對スル將來ノ方策

内地現在鹽田ハ大體之ヲ維持シ其ノ中著シク多額ノ生産費ヲ要スルモノヲ漸次整理スルコト

(四)、製鹽ノ許可ニ關スル方策

新ニ製鹽セントスル者ニ對シテハ轉移入鹽ノ再製品ヨリ低廉ニ生産スル見込確實ナルモノニアラサレハ之ヲ許可セス但シ鹽田製鹽ヨリモ低廉ニ生産スヘキ見込確實ナル方法ニ依ル製鹽及副産鹽ハ當分ノ間之ヲ許可スルコト

(五)、鹽生産費ヲ低廉ナラシムル方策

(1)、小規模ヨリ漸次大規模ノ經營組織ニ變更スルコト

(2)、金融及物資供給方法ヲ改善スルコト

(3)、設備改善ニ對シ政府ヨリ補助金ヲ交付スルコト

(4)、指導機關トシテ政府ニテ試驗區田ヲ經營スルコト

(5)、鹽ノ配給ヲ圓滿ニシ鹽價ヲ各地均一ナラシムル方策

(6)、鹽ノ適當ナル數量ヲ常時貯蓄スルコト之レカ爲メ倉庫ヲ増設シ竝ニ專賣局
運轉資本ヲ増加スルコト

(7)、販賣官署ヲ増設スルコト

(8)、販賣官署ヨリ元賣捌人迄ノ運賃ヲ支給スルコト

(九)、工業用鹽ニ對スル方策

(10)、工業用鹽自己輸入ノ方法ヲ引續キ認ムルコト

政府ハ工業用鹽ニ付テハ其ノ事業ノ性質並製品ノ用途ニ鑑ミ現ニ特別定價ノ
制度ヲ設ケ所謂原價販賣主義ヲ採リ政府ニ於テ何等ノ利益ヲ收ムルコトナク
購買價格ヲ以テ賣渡スノ方法ヲ實行スルノ外尙工業者ニ於テ右特別定價ヨリ
モ一層安價ニテ輸入シ得ル場合ニハ各自ソノ欲スル鹽ヲ何時ニテモ自己輸入
ノ方法ニ依リ輸入スルヲ得ル現行ノ便宜方法ハ將來ニ於テモ之ヲ繼續シテ認
ム可シ

(11)、工業鹽ニ關スル各種ノ制限的取締方法ヲ可成寛大ニスルコト

特別定價ヲ以テ工業家ニ供給セル鹽ニ付テハ變性方法其ノ他取締上ヨリ各種
ノ制限ヲナセルモ此等ハ各工業會社ノ對人信用ヲ基礎トシ出來得ル限り寛大
ニシ官民共ニ蒙ルトコロノ煩累ヲ避ケシム可シ

(12)、曹達灰製造用鹽ハ當分ノ内特ニ低減シタル價格ヲ以テ政府之ヲ當該工業者

ニ賈渡スコト

但シ此レニ因リ生スル損失ヲ補填スルタメニ總價ヲ引上ケザルコト

第三、人口食糧問題調査會ニ於ケル鹽ニ關スル意見

一、鹽ニ對スル方策案

長 瀬 幹 事

水産食糧品ノ利用價值ヲ増進シ貯藏配給上重要ナル關係ヲ有スル鹽ノ供給ニ就テハ左記方策ヲ講スルコトヲ必要ト認ム

仍テ左ノ通答申ス

(一)、漁業用鹽トシテ品質優良ニシテ價額低廉ナル植民地鹽又ハ外國鹽ヲ豐富ニ供給スルコト

說 明

鹽ハ一般國民ノ日常食糧品トシテ重要ナルヲ以テ之カ對策ハ國家食糧問題ニ及ボス影響極メテ大ナルハ言フ俟タサル所ナルモ特ニ漁業用鹽ニ付テハ其ノ使用

ノ目的防腐ニ在ルヲ以テ品質ノ優良ナルコトヲ最モ必要トスルト共ニ一面鹽藏水産物ハ其ノ需要ノ普遍的ナル關係上安價ナルコト亦缺クヘカラサル條件ナリトス依テ漁業用鹽トシテハ品質優良ニシテ價額低廉ナル殖民地鹽又ハ外國鹽ヲ豊富ニ供給スルコトハ最モ緊要ナリト認ム

(二)、鹽ノ配給ヲ圓滑ナラシムル爲水産公共團體ヲ鹽元賣捌人又ハ小賣人トスルノ途ヲ開クコト

説 明

漁業ノ性質上漁獲物ノ豊凶ハ免レサル所ナルカ其ノ大漁ニ際シテハ鹽ノ供給圓滑ヲ缺キ食品トシテ充分利用價值アル水産物ヲ止ムナク肥料ニ化製スル場合尠カラス依テ鹽ノ配給ヲ一層圓滑ナラシムル爲漁村ニ密接ナル關係ヲ有スル地方水産公共團體ヲ鹽元賣捌人又ハ小賣人トスルノ必要アリト認ム

(三)、現行特別用鹽規則ノ適用範圍ヲ擴張シ大量生産アル安價魚類ニ適用スルコト

説 明

現行特別用鹽規則ニ於テ水産物ノ鹽藏用鹽ヲ使用スルニ當リ特別定價ノ鹽ヲ使用シ得ル水産物ノ種類ハ鹽專賣法制度當時定メタルモノニシテ現在ニ於テハ必要アルモノニシテ之カ恩惠ニ浴セス水産鹽藏品ノ内地供給及輸出上不利尠カラサルモノアリ依テ速ニ現行特別用鹽規則ノ適用範圍ヲ擴張シ内地向製品ニ對シテハ鱈、鯨、鯖等ノ大量生産アルモノ輸出向製品トシテハ太刀魚石首魚等ノ如キモノニ適用ヲ受ケシムルノ必要アリト認ム

二、鹽制改革ニ關スル希望

村上委員私案

(左記私案ハ水産局長並專賣局長官ノ本案ニ對スル
意見ヲモ此委員會ニテ徵シタル後提案トシタシ)

(一)、鹽ノ品質ヲ改良シ鹽價低廉ニ努メラレタキコト

(二)、鹽配給組織ノ改善

甲、水産會法ニ依ル水産會、漁業法ニ依ル漁業組合及其聯合會ヲ元賣人又ハ
小賣人ニ指定セラレタキコト

乙、右ノ團體殊ニ水産會ニ對シテハ鹽賣下ノ場合ニハ擔保ヲ徵セスシテ延納ヲ
許可セラレタキコト

(三)、鹽配給設備ノ改善

甲、重要漁業地殊ニ漁港ニハ鹽販賣官署又ハ鹽引渡場所ヲ設置セラレタキコト

乙、重要漁業地殊ニ漁港ニハ常平倉的鹽收藏庫ヲ設置セラレタキコト

丙、漁村ニ於ケル貯鹽庫（水産倉庫）ノ設置ヲ助成セラレタキコト

(四)、民衆的食糧ニ對スル特典

鯧、鱈、鯖、秋刀魚等ノ民衆的魚類ニ對シテハ特別定價若ハ交付金等特典ヲ與フル途ヲ開カレタキコト

(五)、輸出増進ニ關スル改善

甲、魚種ヲ増加スルコト例ヘバ石首魚、太刀魚等ノ如キ近年支那輸出ノ開拓セラレタルモノニモ交付金等ノ特典ヲ與ヘラレタキコト

乙、交付金ノ手續ヲ簡便ニスルコト例ヘハ到達港ノ領事館ノ證明ヲ俟タズトモ積出港ノ税關ノ證明ニテ足ルコトトセラレタキコト

丙、交付金受領者ヲ擴張セラレタキコト例ヘハ輸出業者ニアラサル製造業者ニ

モ事實上交付金カ下付セララル途ヲ講セラレタキコト

丁、假置場及保税倉庫内ニ於ケル鹽ノ取扱ヲ成ルヘク簡便ニセラレタキコト

(六)、取扱手續ノ改善

甲、特別定價拂下ノ制限一萬斤以上トアルヲ低下セラレタキコト

乙、自己移輸入ノ範圍ヲ成ルヘク擴張セラレタキコト

丙、試験用鹽ノ取扱ヲ簡易ニセラレタキコト

丁、通過貿易鹽積込船ニ内地鹽加乘ヲ許可セラレタキコト

戊、財政收入主義ヨリ社會政策主義ニ移リタル以上之ニ應シ取締其ノ他ノ手續ヲ成ルヘク簡易ニ根本的ニ改善セラレタキコト

(七)、關稅政策ノ確立

青島還付ノ今日ニ於テ臺灣其他ノ植民地鹽ニ對シ保護開發ノ途ヲ執ラレタキコ

ト

- (八)、鹽ノ運賃ヲ低廉ニスル様考慮セラレタキコト
- (九)、副産鹽ニ對スル措置ヲ寛大ニセラレ度コト

三、鹽制改革ニ關スル意見

堤 委 員 私 案

政府ハ本年度及明年度ニ於テ自發的ニ約一千町歩ノ鹽田整理ニ着手セラレ其政策漸次吾人ノ所論ニ向ツテ接近シツツアルハ喜フヘキ現象ニシテ此際更ニ一步ヲ進メ第二期ノ實行方法ヲ講スルハ頗ル緊要ナ事ナリトス

第二期ノ方法ハ更ニ内地鹽田ノ整理ヲ爲シ吾人ノ曾テ論セシ如ク移輸入鹽ト内地鹽ノ供給ヲ平等ナラシメ第三期ニ於テ内地鹽田全部ヲ整理シ最後ノ目的タル專賣法廢止ニ到達セントスルモノナリ

現在内地鹽田ノ反別ハ

地方專賣局	製鹽反別	地方專賣局	製鹽反別
東 京	一〇七二町	廣 島	六九九〇町

仙臺	九〇、五	三田尻	八九五三
名古屋	一七三、九	阪田	一、四五九三
金澤	九六、九	徳島	四六三、六
大阪	八九四、四	福岡	三三六、一
岡山	四七六、〇	鹿兒島	一七三、三
合計	五、八六五、五	町	

五千八百六十五町歩五ニシテ其内約一千町歩ハ今年度ニ於テ整理サルルヲ以テ
 鹽ノ需要ヲ一箇年約十五億斤ト假定シ内地鹽七億五千萬斤トスルモノニシテ其方
 法トシテハ

一、内地鹽田ノ十州鹽田以外ノモノハ全部整理シテ收納區域ヲ狹メ經費ヲ節減
 スルコト

一、十州鹽田中收量ノ比較的少ク當局者ノ言明セル如ク近キ將來ニ於テ百斤ノ
 生産費二圓以上ニ昇ルモノハ之ヲ整理シ内地鹽ノ生産額ヲ七億五千萬斤ニ制
 限スルコト

關東州	四億斤
臺灣	一億五千百斤
青島	二億斤

此第二期計畫實現スレハ現在ニ比シ著シク鹽價ヲ低下スルノミナラス頻死ノ状態
 ニアル關東州及臺灣ノ鹽業ヲ復活セシムルヲ得ヘシ
 青島鹽カ關東鹽ニ比シ安價ニ供給セラルルハ其生産費ノ相違ハ僅少ニ過キサルモ
 ノニシテ主トシテ鹽田ヨリ本船積込迄ノ費用ノ差異ニ依ルモノニシテ今兩者ノ現

狀ニ就テ比較スルニ左ノ如シ

區別	噸當り銀	百斤當り銀	邦價概算
青島鹽			
鹽價	三、四〇	二〇、二〇	二三、〇
税金	三〇	一、〇〇	三、一
埠頭料	五〇	三、〇〇	三、一
積込費	二一	一、二五	一、三
雜費	一〇	〇、六〇	〇、七
合計	四、七一	二八、〇五	三一、二

備考 青島鹽價ハ埠頭價格ニシテ鹽田埠頭間ノ運搬費ハ平均銀一圓七十錢位ナルヲ以テ鹽田ニ於ケル鹽百斤ノ邦價換算原價ハ金十一錢五厘ナリ

爲換ハ九十八圓トシテ計算セリ

税金ハ時ノ支配者ニ依リ増加セラルルコトアリ

關東州鹽

區別	百斤當り價格
鹽價	一五 錢 一 二八 錢
搬出及積込	一三 一 三〇
税金	一〇 一 一〇
雜費	〇、七 一 〇、七
合計	三八、七 一 六八、七

如此兩者價格ノ相違ハ主トシテ運搬費ニ依ル事明カナリ由來鹽田ノ好適地ハ之ヲ海運上ヨリ見レハ極メテ不便且ツ不利益ノ位置ニ築造セラレ之ヲ海運ニ依テ輸出

セルヲ以テ價格ノ上昇ヲ免レス

今青島ト關東州ノ實狀ヲ比較スルニ青島ニ於テハ鹽田ヨリジヤンタヲ以テ直チニ築港ノ共同保管場ニ送り本船ノ棧橋ニ横付ケシテ積込ミ得ルニ反シ關東州ニ在リテハ一旦海上十數哩ヲ距ル離島ノ堆積場ニ集積シ本船積込ニ際シテハ更ニ之ヲ解取リシテ積込ムヲ以テ費用ヲ要スル事多キノミナラス港灣ニ非サル處ニ於テ荷役スルヲ以テ天候ニ支配セラレ往々數日間ヲ空シク滯船セシメ意外ノ損失ヲ招クノ事實アリ

關東州鹽カ青島鹽ニ比シ高價ナルハ一ニ之ニ原因スル金福鐵道開通ノ今日ニ於テ關東州鹽田ハ大部分鐵道ハ其ノ背後ニ布設セラレタルヲ以テ鹽ノ輸送ヲ陸上ニ求メ鹽ノ集中地點及旅順又ハ大連ニ共同保管場ヲ設ケ埠頭ヨリ直チニ本船ニ積込ミ得ルノ設備ヲ爲シ其共同保管ニ對シ金融ノ道ヲ計ルニ於テハ關東州鹽ヲ青島ヨリ

安價ナラシメ得ルノミナラス租借地以外ノ鹽迄モ吸收スルヲ得ヘキハ疑ヲ容レサルナリ

此ノ條件ハ以テ臺灣ニ應用スルヲ得ヘク移入鹽カ青島鹽ニ比シ安價ニ得ラルルニ及ヘハ青島鹽ノ輸入高ヲ減少スルヲ得策ナリトス

秋

大臣次裁濟

者島塩三箇スル日支交渉基礎案

(案)

10